

住みよい街へ 一歩前進

バスが通ると家がゆれる

1 道路改修工事完了へ

2013年、地域のみなさんと日本共産党の道路改修を求める要望に、取手市は「ふれあい道路の改修工事が終わったら、バス通りの工事をする」と約束。その後、戸建自治会からも要望して頂き、2015年から振動対策工事が始まりました。

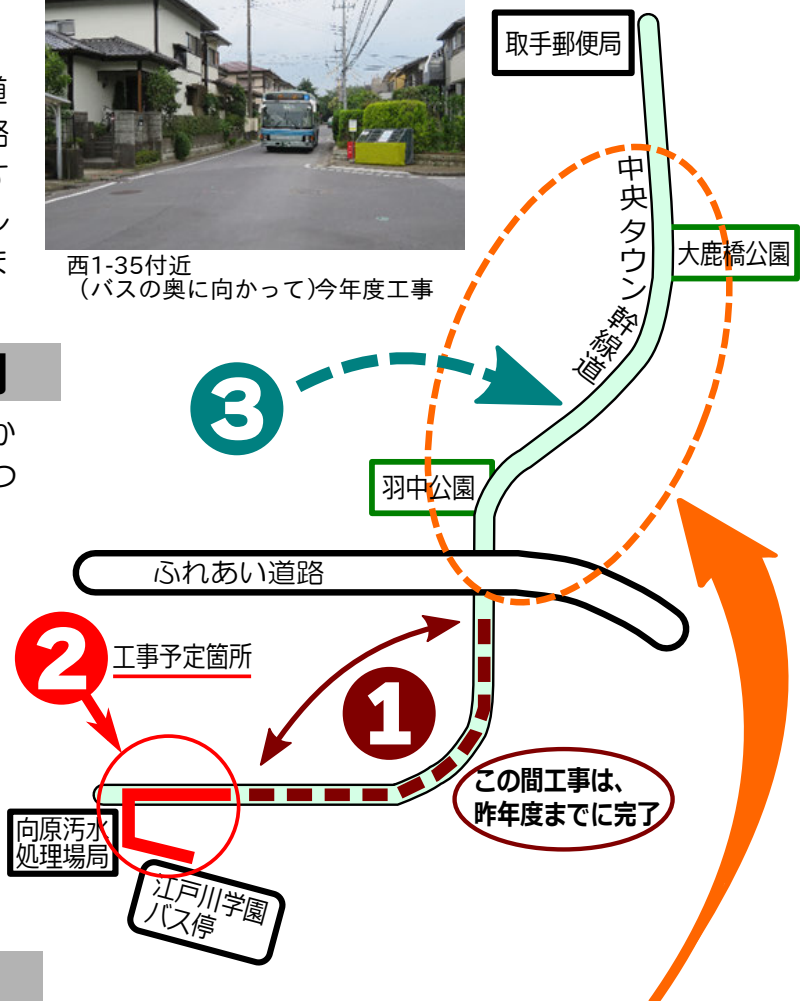


西1-35付近
(バスの奥に向かって)今年度工事

2 今年度工事へ＝予算4千万円

最終年に当たる今年は、延長175mで表面から55cm掘り下げ、袋詰めにした砕石を敷きつめる工法で振動を少なくします。

6月議会で補正予算が決まり、9月以降に着工する予定です。



3 西2丁目生活幹線道路改修＝来年度着手

来年度から、西2丁目の生活幹線道路の改修工事に着手します。2020年に測量、21年に詳細設計の予定です。

中央タウン交差点の冠水対策「雨水幹線基本設計」委託料

取手駅から中央タウンに入っすぐの交差点は、大雨の時に龍田医院あたりまで冠水して、歩行者や車の通行が大変になります。

冠水解消のための基本設計（既存状態の把握など）の予算740万円がつかえました。

スクールバス路線変更・回転場所確保で難航



現在の江戸川学園バス停

1丁目のバス通りを走行する江戸川学園のスクールバスの路線変更で、江戸川学園と関東鉄道に要望してきましたが、回転場所の移転先確保に難航しています。

取手市に道路維持のためにも両者と協議を行うよう要請しています。

日本共産党



住みよい中央タウンへ 今後もみなさんの声をお寄せください。

市議会議員 小池えつ子